



夢風

YUMEKAZE

第80号 (平成27年度 No.6)



本校は、「環境教育」、「国際理解教育」、「地域連携教育」を3つの柱としてESD（持続可能な開発のための教育）活動に取り組んでいます。今学期、身近な自然環境をテーマにした野外活動と環境問題や国際理解をテーマにした講演会を実施いたしました。たくさんの講師の先生方をお招きし、共に野外活動に取り組んだり、講演会に参加することにより、生徒たちは地域や世界の自然環境を理解するばかりでなく、グローバル時代における日本人としての生き方や、これからの自分の進路について考えを深めました。

野外活動に協力していただいた地域の皆様、ご講演いただいた先生方ありがとうございました。

✦ 地球環境研究 10月26日(月)「セセラギプロジェクト」(1年生)

豊田東高校では、自分たちが住む豊田の町についての地域環境研究を総合学科の学校設定教科、科目である「産業社会と人間」の授業で行っています。本校では国土交通省とNPO法人と協働し、学校近くの矢作川の岸边(御立公園)をどのような自然公園にしていくべきか、共に考えています。

この協働事業は、平成24年度にスタートし今年度で4回目になります。まず、事前講義で御立公園の変遷と現状および課題を話していただき、公園についての理解を深めました。その後10月26日(月)に、1年生全員で御立公園とその周辺のフィールドワークを行いました。今年度は、NPO法人矢作川森林塾の理事長である碓伸夫さんを中心に、大同大学の教授や学生、豊田市矢作川研究所の職員など、多くの方々にサポートをしていただき、例年以上に多角的な研究を行うことができました。生徒たちは、「どのようにしたら人々が出会う自然豊かな公園になるのか」を考えながら、セセラギの水位調査や生物、植物調査、ゴミ拾い、

大木の伐採後



大木の伐採やベンチ製作など、グループに分かれて活動しました。

地域の方や外部講師の方とかかわりながら活動を行う生徒は、とても晴れやかな表情で充実した時間を過ごしていました。その後の授業において、グループで散策マップや活動報告書を作成し、矢作川森林塾へ提出しました。今後も東高校は、御立公園の整備を通して地域環境研究を進めていきたいと思っています。



活動報告書



セセラギの生物調査



「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」にいろいろな世界で活躍している外部講師の先生方をお招きして、講演をしていただいています。自分の経験から得た知識や思いを、次世代を担う未来ある若者に伝えたいという熱意でお話をしてくれました。

✚ **講演会（2年生）10月26日（月）**

オイスカ 中部日本研修センター Ms. D. Susette Semui 「マレーシアの生活と文化」

オイスカ研修センターより研修生を招いて、マレーシアの生活と文化について講演していただきました。パワーポイントに映し出される、美しい自然の花々や、エメラルドグリーンの海の中の家、オラウータンのやさしい笑顔の写真などを見ながら、生徒は修学旅行で訪れた都市クアラルンプールでは見ることのできなかった田舎の生活や学校についての話を伺いマレーシアの文化についての理解を深めました。



☆ 生徒コメント

- ・これからもマレーシアのことや他の国の文化について勉強していきたいと思いました。
- ・マレーシアは都会と自然が調和されている国だなと思いました。

✚ **講演会（1年生）**

11月9日（月） グリーングラスロット代表 光岡 保之氏 「砂漠に生命を！」

ウズベキスタンでの植林活動というご自身の経験をもとに、人間の命をつなぐ生命である緑の重要性についてお話しいただきました。環境に国境はないというお言葉に、環境問題にとどまらず、国際理解についても、考えさせられました。生徒たちは、自分たちが環境保全のために何ができるかについて考えを深めました。

☆ 生徒コメント

- ・講演の中で、「木を一本植えると周りの環境が変わる」というお話しがとても印象に残りました。広大な砂漠で、たった一本の木にそんなに影響力があるんだと感動しました。
- ・次の世代のために私もできることをこつこつ頑張っていきたいです。
- ・国境を越えて、緑を通して、人と人とのつながりもできると良いなと思いました。

✚ **講演会（2年生）11月16日（月）三菱総合研究所・海外研究センター客員研究員**

近藤 敏夫氏 「グローバル時代に対応する職業人人生設計のヒント」

現在の世界情勢の中で、日本人特有の、謙虚で、思いやりがあって、礼儀正しい態度、またきちんと仕事を最後まで成し遂げることができることこそが日本人の美德であり、世界で必要とされている人材であるとお話しいただきました。また、生徒たちは、内容のある言葉を、簡潔に、タイミングをみて、ゆっくりと話すことの大切さ等、国際社会のみならず、将来求められる社会人としてのあり方について考えを深めました。

☆ 生徒コメント

- ・今回の講演を聴いて、日本人には、日本人にしかできない発言があり、発言のタイミングをつかんでそれを堂々と発表すれば良いのだと気づきました。
- ・先生のお話を聞いて、日本人として誇りを持ちながら生活することが今からできることかなと思いました。



豊田東高校は、ユネスコスクールに加盟し、ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。「夢風」はWebページでも発信しています。

→ <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>